

# 【注意事項】 ソリューション・ツールキット Bluetooth® low energy 対応開発支援ツール QE for BLE[RA,RE,RX]

R20TS0876JJ0100  
Rev.1.00  
2022.09.16 号

## 概要

タイトルに記載している製品の使用上の注意事項を連絡します。

1. 統合開発環境 e<sup>2</sup> studio 2022-07 で QE for BLE[RA,RE,RX] を使用する場合の注意事項

## 1. 統合開発環境 e<sup>2</sup> studio 2022-07 で QE for BLE[RA,RE,RX] を使用する場合の注意事項

### 1.1 該当製品

Bluetooth® low energy 対応開発支援ツール QE for BLE[RA,RE,RX] V1.5.0 (以前を含む)

### 1.2 該当デバイス

RX ファミリ : RX23W、RX マイコン+RYZ012 モジュール

RA ファミリ : RA4W1、RA マイコン+RYZ012 モジュール

RE ファミリ : RE01B

### 1.3 内容

R\_BLE カスタムプロファイル RA,RE,RX (QE) ビューでコード生成を実行すると “Bluetooth low energy カスタムプロファイルのコード生成に失敗しました。” が表示されて、コード生成に失敗します。

### 1.4 発生条件

QE for BLE[RA,RE,RX] V1.5.0 (以前を含む) を統合開発環境 e<sup>2</sup> studio 2022-07 と組み合わせて使用した場合に発生します。

### 1.5 回避策

e<sup>2</sup> studio の設定で、Python のバージョンを Python3 から Python2.7 に変更します。

1. e<sup>2</sup> studio の [ウィンドウ(W)] → [設定(P)]メニューから [設定]ダイアログを開く。
2. [Scripting] → [Python Scripting (using Py4J)] を選択。
3. [Python location:] に入力されている値の 3 を削除。  
変更前: ” \${system\_property:e2studio.ease.python3}”  
変更後: ” \${system\_property:e2studio.ease.python}”
4. [適用して閉じる]ボタンをクリックしてダイアログを閉じる。

### 1.6 恒久対策

QE for BLE[RA,RE,RX] Utility を V1.5.0 にバージョンアップします。バージョンアップ方法は、以下の Web ページを参照してください。

- Bluetooth® Low Energy 対応開発支援ツール QE for BLE ユーザ向け情報  
<https://www.renesas.com/software-tool/qe-ble-development-assistance-tool-bluetooth-low-energy-information-users>

以上

## 改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Sep.16.22	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したものです。誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

## 本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

[www.renesas.com](http://www.renesas.com)

## お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

[www.renesas.com/contact/](http://www.renesas.com/contact/)

## 商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。